



新居浜市勢要覧

GUIDE TO NIHAMA CITY 2017

Hello!
NEW

新居浜

新しい新居浜、はじめよう！



新居浜

新居浜市勢要覧 2017

Contents

市長挨拶	1
特集 1：Hello!NEW 新居浜	2
特集 2：移住。新居浜へ	4
特集 3：別子銅山産業遺産	6
特集 4：東洋のマチュピチュ「東平」	8
特集 5：新居浜のものづくり	10
特集 6：新居浜太鼓祭り	12
長期総合計画 1：快適交流	14
長期総合計画 2：環境調和	16
長期総合計画 3：経済活力	18
長期総合計画 4：健康福祉	20
長期総合計画 5：教育文化	22
長期総合計画 6：自立協働	24
新居浜紹介マップ	26
季節のフォトライブラリー	28
市民憲章、高齢者憲章、市長・副市長	30
都市宣言	31
先人	32
名誉市民	33
新居浜市 80 年のあゆみ	34
市歌	38
歴代三役	39
市議会	40
統計資料	42
市章・市花・市樹	50
アクセスマップ	51



「Hello! NEW 新居浜」を合言葉に

新居浜市は、四国の中央部に位置し、波静かな瀬戸内海を北に臨み、高峻な四国山地を南に仰ぐ、自然に恵まれた都市です。

元禄4年（1691年）の別子銅山開坑がまちの近代化を推し進め、先人のたゆみない努力によって住友関連企業群を中心とした四国屈指の工業都市へと発展してまいりました。

昭和12年11月3日、新居浜町と金子村、高津村の1町2村が合併し、新居浜市が誕生してから80年。昭和、平成という激動の時代のなかで、幾多の困難に直面しながらも、それらを克服し、伝統や文化を脈々と受け継いでこられた先人の偉業に、心から感謝を申し上げ、深く敬意を表する次第でございます。

本市行政運営の道標ともいべき第五次長期総合計画も残すところ3年となりました。今後は、「Hello! NEW 新居浜」を合言葉に、長期総合計画を完遂し、地方創生を成し遂げるために、誰もが新居浜市民として誇りを持ち、住みたい、住み続けたいと感じられるまちづくりに精力的に取り組んでまいります。

この要覧が、市勢の現状についてご理解いただくための参考となれば、幸いです。

平成29年11月3日

新居浜市長 石川 勝行

Niihama City is located in the center of Shikoku Island and blessed with a rich natural environment with the calm Seto Inland Sea to the north and the high Shikoku Mountain Range to the south.

The Besshi Copper Mine, which opened in 1691, contributed to the modernization of the city. Thanks to the continuous efforts of our predecessors, Niihama has developed as the major industrial city of Shikoku with the Sumitomo Companies as its core.

Eighty years have passed since Niihama City was born on November 3, 1937 when Niihama Town, Kaneko Village and Takatsu Village were merged.

When faced with many difficulties in the turbulent Showa and Heisei eras, our predecessors overcame them and inherited traditions and culture along the way. I sincerely express my gratitude to the accomplishments of these pioneers and I am deeply honored to continue their work.

There are three years left to execute the fifth long term general city plan which should also be a signpost for administrative management of Niihama city. We will continue to improve the satisfaction of our citizens. Based on the slogan of “Hello! NEW NIIHAMA”, we will complete the long term plan. In order to accomplish local creation, we will endeavor to make a town where everyone wants to live, that Niihama citizens are proud of and want to continue living here.

I hope this summary will help you in understanding the approach of the administration of the city of Niihama.

November 3, 2017

Katsuyuki Ishikawa
Mayor, City of Niihama



市制施行 80 周年という節目を迎える今年、20 年後の市制施行 100 周年、さらにはその先のまちの未来をつくる新たな取り組みをはじめます。

市民のみなさんが主役となって、みんなが誇れる、そしてみんなに愛される新居浜を、市民のみなさんと行政が一緒につくっていく、それが「新居浜市シティブランド戦略」です。



特集

「Hello! NEW 新居浜」

～あたらしい新居浜、はじめよう！～

Hello!
NEW

新居浜

みんなが主役。
みんなが誇れる。
そして、みんなに愛される。

そんな新居浜をつくるための、あたらしい活動をスタートします。合言葉は、「Hello! NEW 新居浜」人、モノ、コト。いろんなワクワクがあふれるまちに変えていく。

市民と市が一緒になって、あたらしい新居浜、はじめます。



新居浜



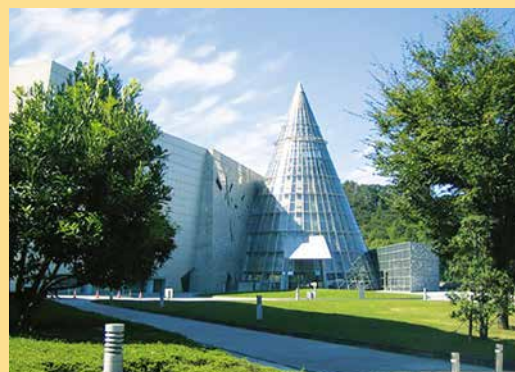
新しい新居浜 はじめよう！

特集

移住。
新居浜へ

新居浜暮らし

新居浜市は 1691 年の別子銅山開坑によって栄え、住友関連企業群（住友金属鉱山、住友化学、住友重機械工業、住友林業、住友共同電力など）が立地する人口約 12 万人の自然と環境が調和する工業都市です。





新居浜の魅力

新居浜市内には4つの総合病院や大型ショッピングセンターがあり、住環境、豊かな自然環境が評価され、2014年には「主婦が幸せに暮らせる街ランキング」で全国9位に選ばれました。



移住サポート

移住者をサポートする「お試し移住制度」や「空き家バンク制度」もご用意しています。お気軽にお問い合わせください。

豊かな自然

市街地から海・山が近く、風光明媚な景色、海・山双方のレジャーを気軽に満喫できます。



新居浜



新しい新居浜 はじめよう！

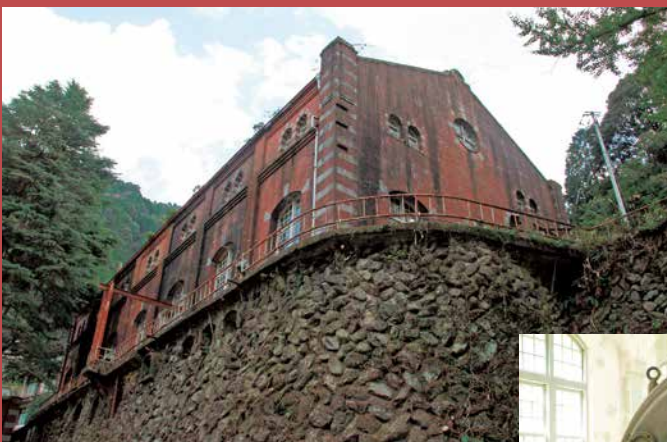
特集

別子銅山産業遺産



国登録有形文化財
旧端出場水力発電所（明治45年）

江戸時代の元禄4年（1691年）開坑から昭和48年（1973年）の閉山まで283年にわたる歴史を誇る別子銅山。標高1,300mの別子山中から本市沖合の瀬戸内海上にある四阪島まで、全長約40km間の壮大なスケールで、時空を超えて数多くの産業遺産が今も残っています。



明治期創業当時の発電機



建物内部

◆旧端出場水力発電所

新居浜市における別子銅山は、本市発展の歴史でもあります。

中でも、旧端出場水力発電所は、別子銅山の近代化に大いに貢献を果たしました。

明治45年に建設された意匠をこらした外観の建物は、明治から平成となった今日まで100年以上にわたり、その雄大な煉瓦造の姿を維持してきました。建物内には、創業当時のドイツのシーメンス・シュッケルト社製の発電機などの機械設備を当時のまま保存しています。

別子銅山近代化の象徴的な建物として、歴史的価値や意義とともに大切に後世へ受け継いでいきます。

◆主な歴史的意義

- ・吉野川水系の銅山川から約7kmにわたって鉱山用トンネルと水路を利用して導水
- ・当時東洋一の落差約597mを利用した発電
- ・優れた技術力の結集による大規模な建築・土木工事の成果
- ・大正11年当時 世界最長といわれた海底ケーブル敷設
(新居浜から四阪島まで約20kmの送電)
- ・端出場の稼働によって、鉱山業から派生した諸産業の発展に大きな役割を果たしたといえること



ドイツのシーメンス・シュッケルト社製



【東平地区】



◆旧第三変電所

明治 37 年、鉱業用等の電気の配電施設として建築されました。現在は、明治 42 年に再建された一部分の煉瓦建物が残っています。

※東平地区の一部は「東洋のマチュピチュ」と呼ばれ、多くの観光客が訪れています。



旧第三通洞（明治35年）

◆第三通洞

東平・日浦間を結ぶ通洞、長さは約 4,000m。昭和 13 年にはかご電車の運行も始まり一般の人にも利用されていました。



国指定重要文化財 旧広瀬家住宅

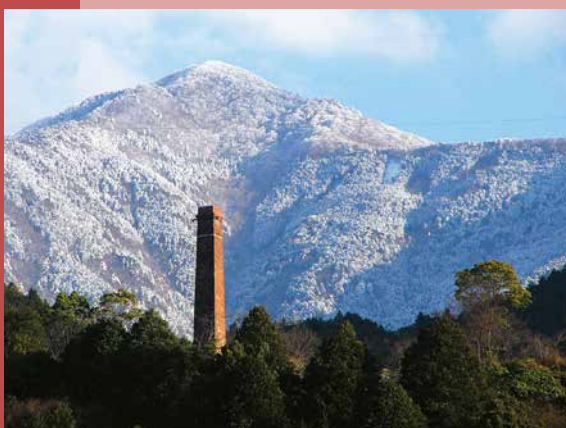
【山根・上原地区】

◆旧広瀬家住宅

母屋は明治 10 年建築。明治 20 年に現在地に移築。新座敷・庭園は明治 22 年に建築・造園されました。別子銅山を支えた実業家（広瀬幸平）の先駆的な近代和風住宅として、平成 15 年 5 月に国の重要文化財に指定されました。

◆旧山根製錬所煙突

明治 21 年、現在の別子銅山記念館周辺に山根製錬所が設置されました。煉瓦造の煙突の高さは約 20m。「えんとつ山」の愛称で親しまれています。



国登録有形文化財 旧山根製錬所煙突（明治21年）
撮影：塩崎 信好（平成25年度フォトコンテスト優秀賞）

【端出場地区】

◆国登録有形文化財 端出場鉄橋（明治 26 年）

別子鉱山鉄道下部線の開通時に完成。鉄橋はドイツ製でピン留め組立式のピントラス橋として、同種の鉄橋でも国内に数基しか残っていないといわれています。現在は、マイントピア別子端出場地区で観光鉄道として利用されています。



国登録有形文化財 端出場鉄橋（明治26年）

Hello!
NEW

新居浜

かつて日本の産業を支え 今は山深く静かに眠る

新しい新居浜 はじめよう！

とうなる

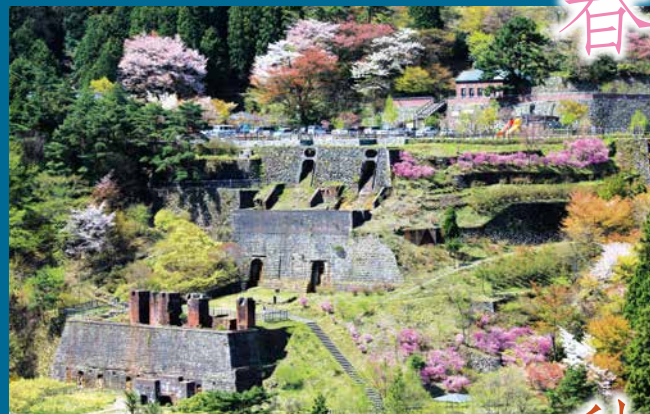
特集

東洋のマチュピチュ 「東平」

昭和48年（1973）に閉山した別子銅山。
大正5年（1916）から昭和5年（1930）まで採鉱本部が置かれた標高750m付近のエリアは「東平」と呼ばれ、銅山関連施設をはじめ、学校、病院、娯楽場、社宅など生活施設も整備されており、一つの“まち”を形成していました。
それら施設の多くは取り壊され、今は植林によって自然に還っていますが、花崗岩造りの貯鉱庫跡や赤レンガ造りの索道停車場跡など、一部が風化の痕跡を残しつつ今も現存しています。
その様子は天空にそびえるようで、「東洋のマチュピチュ」と称されています。



四国八十八景プロジェクトの
四国八十八景第1期選定箇所に選ばれました。



春



秋



【東平貯鉱庫跡】

明治 38 年頃建設。選鉱場・索道基地に隣接した重厚な花崗岩造りの建造物。鉱石は、海上遥か四阪島まで運ばれました。



【東平保安本部（現マイン工房）】

明治 37 年頃に設置。明治期は配電所、大正期は林業課事務所、その後は保安本部として活用されていました。現在は、銅板レリーフ体験ができるマイン工房として活用しています。



【東平歴史資料館】

ジオラマやパネル等で、当時の生活文化を紹介するとともに赤石山系の自然や銅製品なども展示。新居浜ふるさと観光大使の水樹奈々さんがナレーションを担当する DVD「天空のまち東平」を上映しています。



【赤石山系の登山の入口】

赤石山系の自然を借景とし、自然環境に恵まれた東平地区は、銅山越や西赤石山への登山口にもなっています。



新居浜



東平の山ふとところに石楠しやくなひの

花ながめつゝ鶯うぐいすを聞く

昭和11年にこの地を土居どい晩翠ばんすいが訪れ、東平接待館にて次の歌を詠んでいる。



新しい新居浜 はじめよう！

特集

新居浜のものづくり



Niihama Manufac
新居浜もの
えひめ新居浜から優

新居浜市には、産業機械製作や部品加工、プラント製作と保守管理、機械設計、ソフトウェア開発など幅広い分野にわたり、多彩で重層的な産業が集積しています。

その中で他市に誇れる優れた工業製品や特徴ある技術を「新居浜ものづくりブランド」として認定し、全国に広く情報発信します。

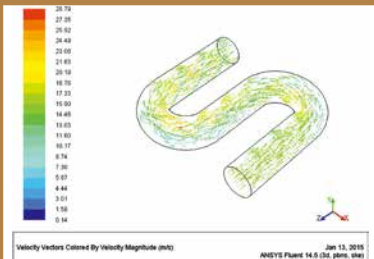
詳しくは新居浜ものづくりブランドホームページをご覧ください。 <http://www.niihamabrand.jp/>





turing Brand
づくりブランド
れた技術・製品を紹介

Hello!
NEW
新居浜



新居浜

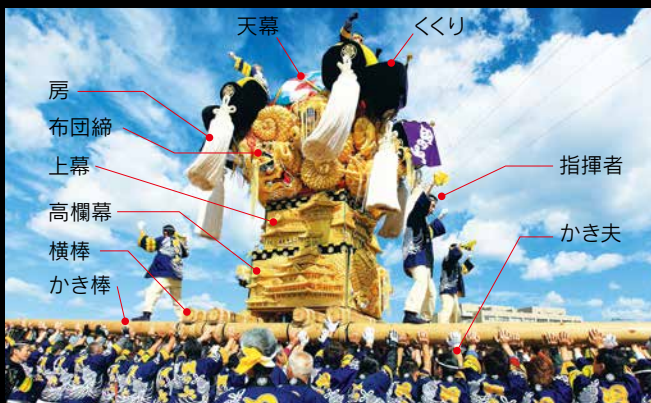
太鼓

祭り

新しい新居浜 はじめよう！

特集 新居浜太鼓祭り

四国三大祭りの一つに数えられる新居浜太鼓祭り。その起源は、古く鎌倉時代あるいは平安時代まで遡ると言われています。太鼓台は、神輿に供奉する山車的一种で、信仰を対象とした神輿渡御の際、その列に参加して厳かに供奉し、豊年の秋を感謝して氏神に奉納していたものです。明治初期の太鼓台は、高さ約3mで現在の子ども太鼓台くらいの大きさでした。別子銅山の隆盛により、産業や地域経済が発展するにつれて、太鼓台を所有する地域が太鼓台に建設費用をかけるようになり、その豪華さ、巨大さを競うようになりました。現在とほぼ同じ大きさになったのは明治中期から昭和時代初期にかけてのことで、飾り幕は縫いの発達とともに豪華に、また天幕も膨らみを持ったものをつけるようになりました。



船御幸

港から太鼓台を船に乗せ、海上をパレードする。大漁を祈願するもので、川西地区において隔年開催。



新居浜市内には現在 53 台の太鼓台があります。

高さ 5.5m、長さ 12m、幅 3.4m、重さ約 3 トンという巨大な山車である太鼓台には、150 人余りの男衆（かき夫といいます）がつき、太鼓台から打ち鳴らされる太鼓の音、運行を仕切る 4 人の指揮者の笛、揃いの法被に身を包んだ男衆達のかげ声によって市内を練り歩きます。複数の太鼓台が一箇所に集まり、練り歩く際に取り付けていたタイヤを外し、かき夫の力だけで支えかつぐ「かきくらべ」は、新居浜太鼓祭り最大の見どころです。

男衆を鼓舞するように太鼓が早打ちされ、指揮者の絶妙な指示で太鼓台を肩にかつぎ上げ、さらに「差し上げ」と呼ばれる両手を伸ばして持ち上げる様を競い合う、まさしく男衆の力比べ、技比べです。

この男衆の祭りにかかる情熱が観衆にも呼応し、人波に押され、祭りは最高潮に達します。

「かきくらべ」は、祭り期間中、市内各所で繰り広げられています。



【太鼓台ミュージアム】

あかがねミュージアムには、実際に運行されている市内各地の太鼓台を順番に展示する「太鼓台ミュージアム」があり、ほぼ 1 年中実物の太鼓台を見ることができます。

運行時の写真や法被、のほりなども展示しており、360° シアターでは、映像と迫力のある音で太鼓祭りの臨場感を体験することができます。

Hello!
NEW

新居浜



快適交流

人が集い、 快適で利便性の高い 都市の実現



上空から見た新居浜市

市民一人ひとりがゆとりと魅力ある生活を
楽しみ、健やかな暮らしを営むことのできる
快適で利便性の高い都市づくりを進めます。

また、瀬戸内の中央という本市の立地条件、
多様な産業の集積、先人たちが築いてきた歴史、
文化などをいかし、人やものが行き交う、
にぎわいあふれる交流都市を目指します。



市道角野船木線開通

To Create a City Where People Feel Comfortable, Convenience and Happiness

By taking advantage of the superior geographical condition, local history, culture and other factors, Niihama seeks to develop its urban infrastructure in order to provide a safe and secure urban environment for all citizens in this city.

新しい新居浜
はじめよう！



新居浜駅周辺

1 良好な都市空間の形成

働きやすく暮らしやすいまちをつくります

2 道路の整備

産業活動と市民生活を支える安全な道路を整備します

3 JR新居浜駅周辺の整備

にぎわいあふれる JR 新居浜駅周辺を整備します

4 安心な住宅の整備

良質な住宅を整備します

5 公園・緑地の整備

市民に親しまれる公園・緑地を整備します

6 港湾の整備

産業と安心した市民生活を支える港湾を整備します



神郷わくわく公園



治丸丸南団地 1 号棟 (市営住宅)



地域にやさしい、 地球にやさしい 暮らしの実現



海辺の生物観察会

豊かな自然と美しい環境を未来の子どもたちに残すため、世界に先駆け 100 年前に環境問題に取り組んだ先人に学び、地球環境に配慮したライフスタイルへの転換など人と自然が共生するまちづくりを進めます。

また、市民、団体、事業者と行政の協働のもと、地球温暖化対策、ごみの減量化や水環境の向上に取り組み、持続可能な環境都市を目指します。



環境会議

To Create a Harmonic and Eco-Friendly Lifestyle

In order to leave a better environment for future generations, we advocate leading a harmonic and eco-friendly lifestyle by learning from ancestors. Based on the cooperation of the citizens, organizations and enterprises, we are committed to the global warming, garbage reduction and improvement of water resources.



市民一斉清掃

1 地球環境の保全

地球環境に配慮したライフスタイルをつくり
ます

2 生活環境の保全

自然を大切にし、共に暮らします

3 ごみ減量の推進

限りある資源を循環させます

4 下水道施設の整備

快適で安全な生活環境を整備します

5 安心で安全な水道事業の推進

安心で安全な水を安定供給します



下水道工事



水質検査センター



経済活力

持続的発展が可能な、 活力ある 産業活動の実現



溶接甲子園

本市を支える産業の持続的発展を促進するために、工業については、ものづくり人材の育成を図るとともに、産業基盤の強化に努めます。

また、農林水産業、商業においては、消費者の嗜好や環境の変化に応じた施策の実施を図ります。そして、多様な観光資源をいかし、交流人口の増加に努め、活気あふれる産業活力都市を目指します。



おさかなふれあい事業

Continually Developing Industrial Vitality.

To be able to promote and provide a positive future for the residents, children and investors of Niihama, the city vows to nurture the development of industry, manufacturing, agriculture, fishing, commerce and tourism. We will implement measures in response to consumer preferences and changes in the environment to maximise productivity and professionalism in these areas whilst minimising the cost, hindrance and risk upon the local people and its environs.

新しい新居浜
はじめよう！



あかがねキッズパーク

1 工業の振興

創造と活力にあふれるものづくりのまちを推進します

2 商業の振興

商業が発展し、商店街が活性化します

3 農業の振興

次世代へ伝え育む農業を推進します

4 林業の振興

林業と環境の調和のとれた森林づくりを進めます

5 水産業の振興

海を守り将来へつなげる水産業を推進します

6 観光・物産の振興

全国に誇れる観光地をつくります

7 運輸交通体系の整備

誰もが安心して便利に移動できる交通体系を確立します

8 雇用環境の整備・充実

安定した雇用創出と働きやすい環境をつくります



はまさいフェスティバル



銅婚の里ツアー



健康福祉

誰もが健康で、 生きがいと安心感のある 暮らしの実現



放課後児童クラブ

少子・高齢化が進展し、世帯構成の変化などが進む地域社会において、一人ひとりが認めあい、支えあう社会をつくります。

また、年齢や障がいの有無に関係なく、生きがいをもって社会に参画し、生涯を心身共に健康に過ごすことが可能な環境づくりに努めることにより、地域の中で、誰もが安心して暮らすことのできる健康福祉都市を目指します。



生き生き幸せフェスティバル

To Lead a Healthy, Peaceful and Valuable Lifestyle

With the declining birthrate and aging, family structure has changed these years. In such cases, we need to establish a solidary society. Everyone, regardless of age and physical condition, will be treated equally and can live a healthy, peaceful and valuable life in our city.



健康都市づくり推進員研修会

1 健康づくりと医療体制の充実

生涯を健やかに過ごすことができる体制をつくれます

2 地域福祉の充実

みんなで共に助けあい、支えあう地域をつくれます

3 児童福祉の充実

安心して子育てができ、子どもが健やかに育つ社会をつくれます

4 障がい者福祉の充実

障がいがあっても自立できる生活を送ることが可能な社会をつくれます

5 高齢者福祉の充実

活力を持ち、支えあって暮らす長寿社会をつくれます

6 社会保障の充実

安心して暮らせる持続可能な仕組みをつくれます



介護施設等でのシルバーボランティアの活動



障害者就労継続支援事業所（市役所地下食堂）の様子



教育文化

市民の力が育まれ、 次世代へ継承される 社会の実現



あかがねミュージアム

あかがねミュージアム

近代化産業遺産などのこれまで培ってきた文化や地域資源を市民の誇りとして、継承するとともに、学校教育や社会教育、スポーツ、芸術文化等を振興し、次世代の人材を育むまちづくりを目指します。



塩の学習館



別子中学校登山学習の様子

Making Efforts to Achieve a Society With Citizens as the Main Force and Which is Capable of Passing Down Its Heritage.

Niihama has always taken pride in the cultural and civic resources that we have developed so far, such as industrial modernization. Whilst valuing the precious, inherited experience and history of our city we aspire to continue and promote the enhancement of school and social education, sports, arts, and cultural community endeavours so to nurture the next generation of skill, talent and mind of our beloved city.

新しい新居浜
はじめよう！



ALT による授業風景

1 学習活動の充実

誰もが学べる環境をつくります

2 地域づくりの推進

住民主体の地域づくりを推進します

3 家庭、地域の教育力の向上

社会全体で子どもを育てる体制をつくります

4 学校教育の充実

生きる力を育みます

5 特別支援教育の充実

個々に適した支援を行います

6 芸術文化の振興

芸術文化の香りを未来に伝えます

7 スポーツの振興と競技力の向上

いつでもどこでも誰でもスポーツを楽しむことができます

8 近代化産業遺産の保存・活用の充実

生きた博物館都市を目指します



広瀬邸



えんとつ山



自立
協働

多様な地域主体が 自立・連携する 協働型社会の実現



にはま未来会議

市民一人ひとりのかけがえのない命と、人権が尊重され、誰もが安心して生き生きと暮らせる社会づくりのため、NPO や地域コミュニティ活動の支援を行うとともに、自治の強化と協働のまちづくりを推進し、「民」の力を十分にいかすことのできる市政の運営を目指します。



グローバルパーティー

Develop Diversified Harmonious Society Through Independent Innovation.

In order to build a society which respects people's life and human rights, supporting activities of Non-profit organizations (NPO) and regional organizations, as well as promoting firm self-government and collaborative community development, Niihama city is aiming at taking full advantage of nongovernmental power.

新しい新居浜
はじめよう！



連合自治会による防災事業取り組み

1 安心安全な生活空間の形成

自分たちのまちを自分たちで守ります

2 消防体制の充実

大切な命と地域を守ります

3 消費者の自立支援と相談体制の充実

賢い消費者、自立する消費者を目指します

4 男女共同参画社会の形成

男女が意欲に応じてあらゆる分野で活躍できる社会をつくります

5 人権の尊重

人権尊重のまちづくりを推進します

6 地域コミュニティの充実

地域力を発揮できる体制をつくります

7 多様な主体による協働の推進

多様な主体が、異なる特性を補完しあい協働を推進します

8 国際化の推進

グローバルな視点でまちづくりを推進します



イクボス事業



化学消防ポンプ自動車Ⅲ型（平成28年度購入）



新居浜紹介マップ



8 あかがねミュージアム



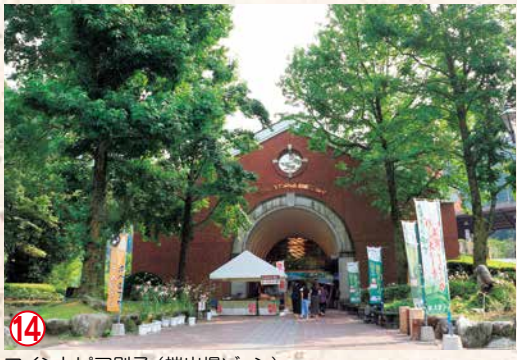
9 滝の宮公園



12 広瀬公園



13 愛媛県立総合科学博物館



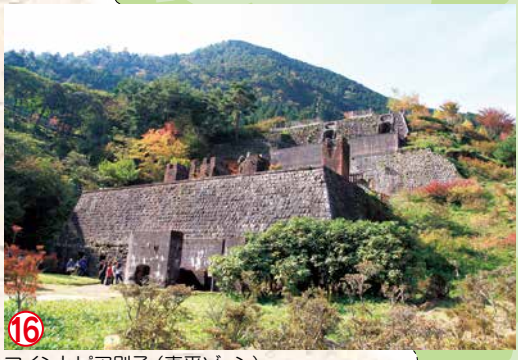
14 マイントピア別子 (端出場ゾーン)



5 市営野球場



15 旧端出場水力発電所



16 マイントピア別子 (東平ゾーン)

新しい新居浜 はじめよう！



渡海船おしま



② 黒島海浜公園



③ マリンパーク新居浜



④ 塩の学習館



⑥ 国領川河川敷



⑦ グリーンフィールド新居浜



⑩ 池田池公園



⑪ 山根公園



⑬ ゆらぎの森

⑬ 森林公園 ゆらぎの森



季節のフォトライブラリー



桜 (広瀬公園)

しゃく薬まつり



パーゴラ藤まつり



はる



春は子ども天国



池田池菫蒲まつり

なつ



笑顔甲子園



喜光地商店街土曜夜市



花火大会



夏祭り



新しい新居浜
はじめよう！



新居浜太鼓祭り



瑞応寺の紅葉

あき



新居のいもだき



新居浜凧あげ大会



大島
とうどあくり

ふゆ

若水汲み



成人式





市民憲章

昭和47年11月制定

別子おろしのきびしさに、瀬戸の朝かぜのおおらかさに、すばらしいあすを夢みて、たくましく生きる、わたしたち新居浜市民は、魅力ある田園工業都市をめざします。

あざやかな緑 あふれるまち、自然を愛して そだてましょう。
 元気なかけこえ ひびくまち、スポーツに親しみ きたえましょう。
 文化の花さく ゆたかなまち、子どもを守って きずきましょう。
 水と空気の きれいなまち、よごさぬ心で つくりましょう。
 世界とむすぶ 平和なまち、みんなの力で まもりましょう。



高齢者憲章

平成4年11月3日制定

わたくしたち新居浜市民は、だれもがすこやかで心豊かな生活ができ、長生きしてよかったと思える『生きがいと思いやりあふれる新居浜市』をめざして、この憲章を制定します。

- わたくしたちは、高齢者が社会の建設者として尊重され、敬愛されるまちづくりにつとめます。
- わたくしたちは、高齢者が心のやすらぎのもてる、なごやかでうるおいのある家庭をつくります。
- わたくしたちは、高齢者が安心して快適に暮らせる、住みよい環境をつくります。
- わたくしたちは、高齢者が知識と経験を生かせる社会活動をすすめます。
- わたくしたちは、高齢者が健康を保ち、生きがいのもてるまちづくりにつとめます。



市長・副市長



市長
石川 勝行



副市長
寺田 政則



新居浜



都市宣言

平和で明るいまちづくりを実現するために、私たちのまちは次の都市宣言をしています。

平和都市宣言

(昭和32年12月20日議決)

われわれは、全世界の恒久平和と全人類の繁栄を念願し、世界連邦建設の趣旨に賛同する。

新居浜市は、平和を愛する総ての都市と共に、永久の平和都市である。右宣言する。

「安全都市」の宣言

(昭和36年12月23日議決)

新居浜市を「安全都市」とし、安全運動を推進することを宣言する。

核兵器廃絶都市宣言

(昭和59年3月9日議決)

世界の恒久平和と安全を実現することは、人類共通の念願である。

新居浜市は、昭和32年、全世界の恒久平和と全人類の繁栄を念願し、平和を愛するすべての都市と共に、永久の平和都市であることを宣言している。

しかるに、これらの願いに逆行して、今日なお核軍備の拡張が続けられ人類の生存に深刻な脅威を与えている。

憲法で恒久平和を高らかに宣言しているわが国は、世界唯一の被爆国として、被爆の恐ろしさ、被爆者の苦しみを声を大にして、全世界の人々に訴え、再びこの地球上に広島、長崎の、あの惨禍を繰り返させてはならない。このことは人類が遵守しなければならない普遍的な理念である。

近年、反核・軍縮を求める草の根運動が、世界的な勢いで展開され、平和運動はこれまでにない盛り上がりを見せている。

ここに新居浜市は、核戦争に勝利なく、人類の滅亡のみあることを銘記し、わが国の核に対する国是ともいうべき「持たず、つくらず、持ち込ませず」の非核三原則が完全に実施されることを願い、すべての核保有国に対し、核兵器の廃絶と軍縮を求め、国際社会の連帯と民主主義の原点に立って、核兵器廃絶の世論を喚起するため、ここに核兵器廃絶都市となることを宣言する。

健康都市宣言

(昭和62年3月3日議決)

健康は、心豊かで活力に満ち充実した生活を営むための最も重要な基礎をなすものであります。

新居浜市民は、健康で明るく幸せな生活がいつまでも続けられることを希求し、個性豊かで明るい活力ある郷土新居浜を築くために、市制施行50周年のいま、ここに、本市を「健康都市にいはいま」とすることを宣言します。

ゆとり創造宣言

(平成2年12月19日議決)

我が国の経済発展は目覚ましく、国際社会の中にあつて経済大国としての地位を確固たるものになっている。

今後、我が国に求められるのは、経済大国にふさわしい豊かでゆとりある生活を国民一人一人が実感できる社会を構築することである。

そのためには労働時間を短縮し、労働と休暇のバランスのとれた生活を実現し、充実した自由な時間を確保するとともに、あわせて生活環境の改善を図ることが最大の課題である。

新居浜市議会は「潤いと活力にみちた産業・文化創造都市」を基本理念に、すべての市民が健康で生きがいに満ちた、ゆとりある暮らしが送れる社会の実現を目指し、ここに「ゆとり創造宣言」を行う。

人権尊重都市宣言

(平成5年9月7日議決)

人は、すべて生まれながらにして自由、平等であり、人として尊ばれ、人として生きる権利を有しています。

お互いに人権を守って、明るい社会を築くことが、市民すべての願いであります。

私たちは、基本的人権を尊重し、明るく住みよい、豊かな社会を実現するため、ここに、「人権尊重都市」を宣言します。

生涯学習都市宣言

(平成9年9月29日議決)

わたくしたちは

夢がひろがり

愛があふれるまち

「にいはいま」を目指して

自分を見つめ 自分をふかめ

ともに生き ともに育ち ともに輝き

世界とむすび 出会いと心の絆を大切にし

ふるさとを知り ふるさとに学び ふるさとに感謝して

より豊かに生きていくために

生涯にわたり楽しく学びます

ここに 市制60周年にあたり

「生涯学習都市 にいはいま」を宣言します

男女共同参画都市宣言

(平成12年3月6日議決)

ひと ひと
女と男 ともにいきいき新居浜宣言

わたくしたち女と男は

心をひらき 心をつないで

認め合い

支え合い

磨き合って

自分らしく いきいきと暮らせる

ふるさと新居浜を

ともに つくるため

ここに「男女共同参画都市」を宣言します



新居浜



先人

四国有数の工業都市である新居浜市。その発展の礎を築いた人物を「先人(せんじん)」とし、その偉業や崇高な志を未来に遺す取り組みをしています。

平成 29 年 11 月 3 日「新居浜市先人を未来につなぐ条例」を施行いたしました。



(住友史料館所蔵)

一意殖産興業に身を委ね 数千万人と利をともにせん
問わんと欲す国家経済のこと

ひろ せ さい へい
広瀬 宰平

—別子銅山近代化の祖—

日本の産業革命の先駆者として、別子銅山の近代化を推進。



(住友史料館所蔵)

別子の全山を旧のあをあをとした姿にして、
これを大自然にかへさなければならない

い ば てい ごう
伊庭 貞剛

—環境対策の先駆者—

環境対策の先駆者として、植林事業及び環境問題への取組



(住友史料館所蔵)

自分は正義公道を踏んで、
皆と国家百年の仕事になす考えである

すず き まさ や
鈴木 馬左也

—国家百年の事業—

技術革新による環境問題の解決及び新たな事業の確立



(「鷺尾勘解治翁」より)

別子銅山の末期に於いて
これに代るべき事業を興す

わし お か げ じ
鷺尾 勘解治

—企業と地域の共存共栄—

産業及び地域社会のため、新居浜の「地方後栄策」を提唱



この華やかな躍進工都の観衆者であってはいけない、
少なくともその演出者の一員でなければならない

しら いし たか じろう
白石 誉二郎

—工都新居浜の礎—

「地方後栄策」の推進及び工都新居浜の都市基盤整備



名誉市民

新居浜市名誉市民は、郷土の社会文化、産業の発展に大きな功績があり、市民が郷土の誇りとしてひとしく尊敬できる人にその称号を贈り、顕彰するものです。

平成2年11月3日、3氏が初の新居浜市名誉市民の称号を贈られました。



あおのしげま
青野重馬氏

- 明治41年7月1日生
- 昭和53年 勲五等双光旭日章を受章
- 平成5年2月9日逝去

昭和22年から新居浜市議会議員（6期）、この間副議長、議長に就任され、市政発展に尽くされた。また、昭和28年より港務局委員（17年間）、昭和27年初代新居浜市教育委員に就任され、奨学資金制度創設基金として高額寄付されるなど、本市の教育の振興と青少年育成に尽くされた。更に昭和50年新居浜商工会議所副会頭、会頭等を歴任されるなど、温厚篤実にして豊かな知性をもって、地方自治、教育及び産業経済の振興に多大の貢献をされた。



おのもとちか
小野基道氏

- 明治37年2月17日生
- 昭和51年 勲五等双光旭日章を受章
- 平成6年11月10日逝去

昭和27年初代新居浜市教育委員長、昭和35年県教育委員（1期）として戦後混乱期の教育行政確立に尽くされた。昭和46年から文化協会会長（15年間）、また昭和10年以来産業医、学校医及び新居浜市学校保健会会長等、更に昭和31年から新居浜市医師会会長等を歴任されるなど、優れた知性と滋味溢れる人間性をもって、教育文化の振興、地域保健の向上充実に多大の貢献をされた。



こんどうひろひさ
近藤廣仲氏

- 明治30年12月1日生
- 昭和47年 勲四等瑞宝章を受章
- 平成10年3月12日逝去

昭和22年角野町長に就任して以来、県議会議員を5期務められ、この間副議長、議長として県政及び市政進展に尽くされた。昭和43年から新居浜商工会議所会頭、愛媛県商工会議所理事、昭和48年新居浜市森林組合長等を歴任され、地元はもとより県下諸産業並びに商工業の発展に尽くされるなど、豊かな識見、高潔な人格をもって地方自治及び産業経済振興等に多大の貢献をされた。



新居浜



S30年前後 市役所前



S32.4 国領大橋通り初め式



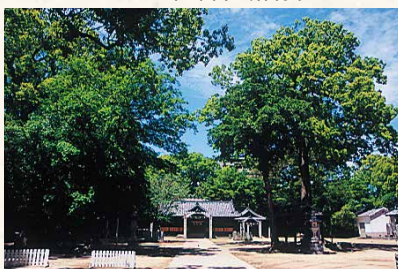
S34.4 角野町を編入合併



S37.11 市民文化センター大ホール落成



S45.10 第1回市民体育祭



一宮神社境内の樟樹群

1937

昭和12年

11月 新居浜町・金子村・高津村が合併し、新居浜市となる

1938

昭和13年

3月 新居浜港大築港計画工事完成
4月 県立新居浜工業高校開校

1939

昭和14年

5月 官立新居浜高等工業高校開校
6月 公会堂落成・武徳殿落成

1940

昭和15年

4月 市立新居浜中学校開校
(現県立新居浜東高校)

1942

昭和17年

4月 市庁舎落成

1946

昭和21年

12月 南海大地震

1947

昭和22年

11月 新居浜市歌制定

1948

昭和23年

1月 新居浜港が関税法による開港に指定され、
神戸税関新居浜支署開設
7月 市営電気バス運行開始

1949

昭和24年

5月 愛媛大学工学部開設

1950

昭和25年

11月 市庁舎全焼

1951

昭和26年

6月 一宮神社境内の樟樹群が国の天然記念物に
指定される
8月 養老院(現慈光園)開設
〃 市政だより発刊
9月 新居浜港 重要港湾に指定

1952

昭和27年

5月 市庁舎完成

1953

昭和28年

5月 垣生・神郷・多喜浜・大島村の4か村を
編入合併
12月 新居浜港務局発足

1955

昭和30年

3月 船木・泉川・中萩・大生院の4か町村を
編入合併
5月 城下焼却場供用開始

1956

昭和31年

3月 上水道の給水開始
9月 大生院西部地区を西条市へ分離

1957

昭和32年

4月 国領大橋開通
6月 川東支所開所

1958

昭和33年

3月 平形橋開通

1959

昭和34年

4月 角野町を編入合併
5月 消防庁舎落成
9月 多喜浜塩田廃止

1960

昭和35年

4月 市立新居浜商業高校開校
10月 上部支所開所

1962

昭和37年

3月 し尿浄化園供用開始
〃 敷島橋（コンクリート橋）開通
4月 新居浜工業高等専門学校開校
8月 鹿森ダム完成
11月 市民文化センター大ホール落成

1964

昭和39年

1月 東予新産業都市の指定を受ける
11月 県立新居浜南高校開校
（前県立新居浜西高校角野分校）

1965

昭和40年

5月 勤労青少年ホーム落成
11月 市営バス営業権を瀬戸内バスに譲渡

1967

昭和42年

3月 市樹を「くす」、市花を「つつじ」に制定

1969

昭和44年

3月 中央公園完成
4月 観音原焼却場供用開始

1971

昭和46年

10月 市役所前交差点にて初の統一太鼓寄せ

1972

昭和47年

4月 第一次新居浜市長期総合計画スタート
6月 東雲市民プール完成
11月 新居浜市民憲章制定

1973

昭和48年

4月 別子銅山閉山

1974

昭和49年

8月 市民福祉会館落成
（現市民文化センター中ホール）

1975

昭和50年

3月 国領川河川敷緑地整備事業完成
8月 第57回夏の甲子園で
市立新居浜商業高校準優勝

1976

昭和51年

4月 住友鉄道跡自転車・歩行者道路一部開通
9月 心身障害者福祉センター開館

1977

昭和52年

7月 市民体育館落成
11月 平尾墓園造成事業完成

1978

昭和53年

4月 清掃センター供用開始

1979

昭和54年

3月 中央児童センター落成
10月 J R新居浜駅舎完成
〃 公営葬儀スタート

1980

昭和55年

3月 新市庁舎落成
4月 下水処理場完成、公共下水道供用開始
〃 上部老人福祉センター開館
9月 新居浜港東港多喜浜埠頭供用開始

1981

昭和56年

4月 第二次新居浜市長期総合計画スタート
10月 郷土美術館開館
12月 東部工業団地（多喜浜団地）造成事業完成

1982

昭和57年

4月 新居浜港東港多喜浜埠頭に貨物定期航路開設

1983

昭和58年

4月 川東老人福祉センター開館
〃 沢津漁港供用開始

1984

昭和59年

3月 核兵器廃絶都市宣言
4月 勤労者体育センター開館
〃 川東児童センター開館
〃 斎場供用開始
8月 真鍋和人選手ロスアンゼルスオリンピック
重量挙げ52kg級で銅メダル獲得
10月 保健センター開館

1985

昭和60年

4月 川西老人福祉センター開館
6月 市営野球場完成

1986

昭和61年

- 2月 市営重量挙げ練習場落成
- 10月 新居浜駅前で、上部・川西地区統一太鼓寄せ
- 12月 県道壬生川新居浜野田線開通

1987

昭和62年

- 3月 健康都市宣言
- 〃 県道新居浜角野線開通
- 4月 山根総合体育館開館
- 5月 上部児童センター開館
- 10月 国領川河川敷で統一太鼓寄せ
- 11月 日本丸が新居浜港東港に寄港

1988

昭和63年

- 4月 新居浜港東港フェリー就航
- 8月 銅山の里自然の家開所
- 10月 山根公園屋内プール開館

1989

平成元年

- 2月 テレトピア構想モデル都市に指定を受ける

1990

平成2年

- 4月 第三次新居浜市長期総合計画スタート
- 〃 新居浜商業高校県立に移管
- 〃 新居浜港東港垣生（第2）埠頭供用開始
- 5月 新居浜ウイメンズプラザ（女性センター・働く婦人の家）開館
- 9月 CATV開局
- 12月 大永山トンネル開通

1991

平成3年

- 3月 松山自動車道土居IC～いよ西条IC間開通
- 6月 マイントピア別子オープン
- 8月 新居浜生涯学習大学開校
- 9月 東予産業創造センター開館

1992

平成4年

- 7月 中国徳州地区と友好交流関係締結
- 10月 市立別子銅山記念図書館開館
- 11月 新居浜市高齢者憲章制定
- 12月 高齢者生きがい創造学園開校

1993

平成5年

- 1月 久保田太鼓台チンゲイパレード（シンガポール）に参加
- 4月 文化振興会館開館
- 〃 市営弓道場開館
- 〃 市民の森学習館開館
- 〃 最終処分場供用開始

1994

平成6年

- 3月 山根公園完成
- 4月 リサイクルプラザ供用開始
- 〃 くすのき園開園
- 6月 マイントピア別子東平ゾーンオープン
- 11月 愛媛県総合科学博物館開館

1995

平成7年

- 3月 平和通り（市役所前）電線地中化事業完成
- 4月 黒島海浜公園完成
- 9月 人権尊重都市宣言

1996

平成8年

- 4月 ふれあいプラザ（総合福祉センター）開館
- 〃 マリンパーク新居浜（新居浜マリーナ）オープン
- 10月 上部東西線一部開通

1997

平成9年

- 4月 広瀬歴史記念館開館
- 〃 銅夢にいほま（商業振興センター）開館
- 9月 生涯学習都市宣言
- 10月 楠中央通りで、上部・川西・川東・川西部地区統一太鼓寄せ
- 11月 中国山東省徳州市と友好都市関係締結
- 〃 市制施行60周年

1998

平成10年

- 4月 新居浜駅前土地区画整理事業スタート
- 5月 喜光地イベント広場落成
- 10月 生涯学習まちづくり市民講座スタート

1999

平成11年

- 4月 上部東西線（第2期事業区間）開通
- 〃 新居浜港東港垣生（第3・第4）埠頭供用開始
- 5月 篠場配水池竣工
- 8月 グリーンフィールド新居浜（新居浜市営サッカー場）オープン

2000

平成12年

- 3月 男女共同参画都市宣言
- 7月 全国生涯学習まちづくりフォーラム
- 8月 近代化産業遺産全国フォーラム

2001

平成13年

- 3月 愛媛労災特別介護施設ケアプラザ新居浜完成
- 4月 学校給食センター完成
- 6月 第四次新居浜市長期総合計画スタート

2002

平成14年

- 5月 宇高太鼓台ワールドカップサッカー大会前夜祭（ソウル）に参加
- 11月 市制施行65周年

2003

平成15年

- 4月 別子山村を編入合併
- 5月 旧広瀬邸が国の重要文化財に指定される
- 10月 全国男女共同参画宣言都市サミット

2004

平成16年

- 1月 清住浄水処理施設完成
- 8月～9月 相次ぐ台風の襲来、集中豪雨により甚大な被害を受ける
- 11月 県道新居浜別子山線立川山バイパス開通

2005

平成17年

- 2月 国道11号新居浜バイパス（東田三丁目～寿町）開通
- 4月 高機能消防通信指令システム運用開始

2006

平成18年

- 4月 別子山地域バス定期運行開始
- 7月 まちづくり協働オフィスオープン

2007

平成19年

- 2月 平形橋（4車線化）完成
- 3月 駅前滝の宮線開通
- 〃 中央雨水ポンプ場完成
- 11月 市制施行70周年

2008

平成20年

7月 新居浜駅菊本線開通

2009

平成21年

4月 急患センター夜間診療開始
 8月 旧別子鉱山鉄道端出場鉄橋（足谷川鉄橋）
 旧別子鉱山鉄道端出場隧道・旧山根製錬所煙突
 旧泉寿亭特別室棟・山根競技場観覧席、
 登録有形文化財に指定

2010

平成22年

4月 青龍橋開通
 // 地域交流センター（旧金子公民館）開館
 マイントピア別子観光坑道リニューアル
 10月 こども発達支援センター開所
 12月 中萩さらさら公園供用開始

2011

平成23年

1月 旧端出場水力発電所登録有形文化財に指定
 4月 第五次長期総合計画スタート
 // 防災行政無線運用開始
 5月 駅前交通広場完成
 // 第19回環境自治体会議にいはま会議開催
 // 東浜公園供用開始
 6月 慈光園新築移転
 8月 第1回笑顔甲子園開催
 11月 ものづくり産業振興センター開所
 // 新居浜東中女子駅伝チーム全国大会優勝
 12月 おおしま7就航

2012

平成24年

2月 国道11号新居浜バイパス（本郷～萩生）開通
 11月 市制施行75周年
 12月 新居浜東中女子駅伝チーム全国大会第3位

2013

平成25年

3月 駅前駐輪場供用開始
 // 市営渡海船大島待合所開所
 4月 防災行政無線・自治会広報運動システム開設

2014

平成26年

2月 出逢いロード（新居浜駅南北自由通路）供用開始
 12月 市役所敷地内にコンビニオープン（全国2例目）

2015

平成27年

3月 一般県道新居浜東港線（郷松の端線郷～観音原工区）開通
 7月 原付用オリジナルナンバープレート交付開始
 // JR新居浜駅前「人の広場」供用開始
 // あかがねミュージアム（新居浜市総合文化施設）オープン
 9月 新居浜市役所1階フロア全面リニューアル
 12月 新居浜市人口ビジョン、新居浜市総合戦略を策定

2016

平成28年

3月 郷土美術館閉館
 4月 別子中学校学び創生事業開始
 // マイントピア別子リニューアルオープン
 （温泉リニューアル、あかがねキッズパーク開設）

2017

平成29年

3月 市道角野船木線全線開通
 4月 神郷わくわく公園供用開始
 6月 Hello!NEW 新居浜宣言
 10月 愛顔つなぐえひめ国体（第72回国民体育大会）
 新居浜市にて4競技開催
 11月 市制施行80周年



H6.6 東平記念館落成



H19.11 市制施行70周年記念式典



H22.4 青龍橋開通



H23.8 第1回笑顔甲子園



H12.7



現在の新居浜駅前



H27.7 あかがねミュージアムオープン



新居浜市市歌

行進曲風に（原調ト長調）

花田 豊 作詩
貫名 美名彦 作曲



アケユクセイキ レイロウト イヨノサンガニ ヒハノボル
はるかにべっし やまはれて しみんきおいて たつところ



ミヨシンセ イノ イキモエテ
ぶんかさんぎょう ー けんらんと



イラカノビユク ワガーミヤコ ココゾミンシュノ ニイハマシ
はなさきかおる このーはんか おこせこうとの にいはまし

一 明けゆく世紀 玲瓏と

伊予の山河に陽は昇る

見よ 新生の意気もえて

甍伸びゆく わが都

こゝぞ 民主の新居浜市

二 遙かに別子 鉦山晴れて

市民勢いて起つところ

文化 産業 絢爛と

花咲き薫るこの繁華

興せ 工都の新居浜市

三 往き交う船も賑やかに

招く御代島 四阪島

世界を結ぶ 観光の

絵巻はつきぬ瀬戸の海

拓け 自由の新居浜市

四 愛媛の天地うらゝかに

映えて平和の鐘が鳴る

あゝ 撥漕と海陸に

躍進やまぬ わが市勢

謳え 栄ある 新居浜市



歴代三役

市長

代	市長名	就任年月日	離任年月日
初代	白石 譽二郎	S.12.12.30	S.16.12.29
2	白石 譽二郎	16.12.30	19. 5. 4
3	西澤 定義	19. 5. 5	21. 3.17
4	島村 計治	21. 7. 2	21.12.31
5	荒井 源太郎	22. 4. 5	26. 4. 4
6	白石 捷一	26. 4.24	30. 4.10
7	小野 穉	30. 5. 2	34. 4.29
8	小野 穉	34. 5. 1	38. 4.29
9	小野 穉	38. 5. 1	40. 2.24
10	泉 敬太郎	40. 4.15	44. 4.14
11	泉 敬太郎	44. 4.15	48. 4.14
12	泉 敬太郎	48. 4.15	52. 4.14
13	泉 敬太郎	52. 4.15	56. 4.14
14	泉 敬太郎	56. 4.15	59.10.16
15	伊藤 武志	59.11.18	63.11.17
16	伊藤 武志	63.11.18	H. 4.11.17
17	伊藤 武志	H. 4.11.18	8.11.17
18	伊藤 武志	8.11.18	12.11.17
19	佐々木 龍	12.11.18	16.11.17
20	佐々木 龍	16.11.18	20.11.17
21	佐々木 龍	20.11.18	24.11.17
22	石川 勝行	24.11.18	28.11.17
23	石川 勝行	28.11.18	

助役

代	助役名	就任年月日	離任年月日
初代	本藤 巴勢一	S.12.12.21	S.15.11.28
2	西澤 定義	17. 7.22	19. 5. 4
3	矢野 桃郎	19. 5.10	20. 9.15
4	白石 喜八	20.11.10	22. 4.10
5	中川 英嗣	22. 7. 1	23. 4.14
6	近藤 続行	23. 4.30	26. 5.10
7	岡田 稔	26. 5.28	26. 9.14
8	岡田 大六	26. 9.17	30. 1.28
9	瀧 幸龍 榮	30. 7.21	34. 7.20
10	瀧 幸龍 榮	34. 7.21	38. 7.20
11	伊東 祐一	38. 8. 1	40. 7.31
11	近石 義己	38. 8. 1	40. 7.31
12	齋藤 一	40.12. 4	44.12. 3
13	井上 啓三郎	45. 3.28	49. 3.27
14	松田 茂久	49. 6.29	53. 6.28

代	助役名	就任年月日	離任年月日
15	松田 茂久	S.53. 6.29	S.57. 6.28
16	松田 茂久	57. 6.29	60.12.31
17	加藤 照光	61. 1. 1	H元.12.31
18	加藤 照光	H. 2. 1. 1	5.12.31
19	加藤 照光	6. 1. 1	6. 9.30
20	神野 秀明	6.10. 1	10. 9.30
21	神野 秀明	10.10. 1	12.12.31
22	片上 孝光	13. 1. 1	14.12.31
23	鈴木 暉三弘	15. 1. 1	18.12.31

副市長 (H.19.4.1から助役制度を廃止し、副市長制度を新設)

代	副市長名	就任年月日	離任年月日
初代	石川 勝行	H.19. 4. 1	H.23. 3.31
2	石川 勝行	23. 4. 1	24. 9.21
3	近藤 清孝	25. 1. 1	28.12.31
4	寺田 政則	29. 1. 1	

収入役 (H.21.4.1から収入役制度を廃止し、会計管理者制度を新設)

代	収入役名	就任年月日	離任年月日
初代	小野 豊	S.12.12.21	S.16.12.19
2	小野 豊	16.12.20	20.11. 9
3	小野 豊	20.11.10	22. 6.19
4	小野 豊	22. 6.20	22.12.31
5	鈴木 健市	23. 4.30	27. 4.30
6	鈴木 健市	27. 5. 1	31. 4.30
7	鈴木 健市	31. 5. 1	35. 4.30
8	鈴木 健市	35. 5. 9	39. 5. 8
9	齋藤 一	39. 5. 9	40.12. 3
10	藤田 襄	40.12. 4	44.12. 3
11	永易 治	45. 3.28	49. 3.27
12	稲見 正夫	49. 6.29	53. 6.28
13	稲見 正夫	53. 6.29	57. 6.28
14	稲見 正夫	57. 6.29	60.12.31
15	高橋 昭博	61. 1. 1	H.元.12.31
16	高橋 昭博	H. 2. 1. 1	5.12.31
17	高橋 昭博	6. 1. 1	6. 9.30
18	近藤 宗治	6.10. 1	10. 9.30
19	近藤 宗治	10.10. 1	12.12.31
20	稲見 重幸	13. 1. 1	16.12.31
21	田村 浩志	17. 4. 1	21. 3.31



市民の声を 市政に生かす市議会



市議会は、市民を代表する 26 名の議員により構成され、市民の声を市政に反映させるとともに重要施策を審議決定しています。



議長
仙波 憲一



副議長
藤原 雅彦



3 列目

藤田 幸正 岡崎 溥 伊藤 優子

2 列目

太田 嘉一 岩本 和強

三浦 康司 篠原 茂 大條 雅久

1 列目

神野 恭多 米谷 和之 井谷 幸恵



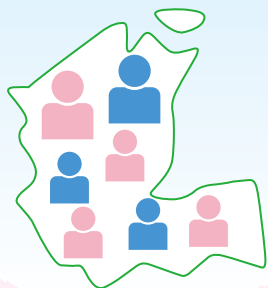
佐々木文義	真木増次郎	仙波 憲一	近藤 司	加藤喜三男	山本健十郎
高塚 広義	藤原 雅彦	豊田 康志		永易 英寿	伊藤 謙司
				藤田 誠一	田窪 秀道
					藤田 豊治
					小野 辰夫



新居浜市統計資料

市民の生活

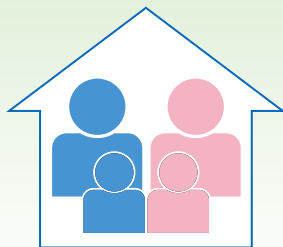
生活の指数 (特に表示がないものは、平成28年度実績による。)



人口密度

H 29.4.1 現在

1km²=**516.9**人



世帯人口

H 29.4.1 現在

1世帯=**2.1**人



出生

1日=**2.6**人



死亡

1日=**4.4**人



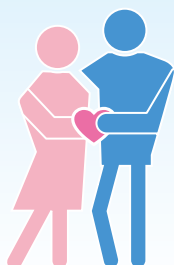
転入

1日=**5.1**件



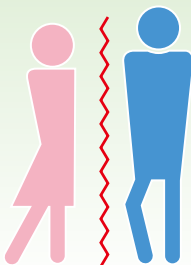
転出

1日=**4**件



婚姻

1日=**1.4**組



離婚

1日=**0.6**組



火災

H 28年

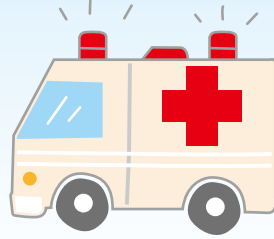
1日=**0.1**件



交通事故

H 28 年

1日=0.92件



救 急

H 28 年

1日=14.10件



医 師

H 29.4.1 現在

市民 509.3人=1人 (医 師)
1,923.9人=1人 (歯科医)



ご み

1日=125 t



水 道

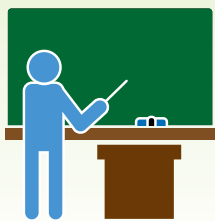
1日1世帯=0.68 m³



市職員

H 29.4.1 現在

市 民 133.6人=1人
(内消防士 市民 904.6人=1人)



保育士・教員

平成29.4.1 保育園児 5.4人=1人
平成29.5.1 幼稚園児 13.6人=1人
小学生児童 16.4人=1人
中学校生徒 12.9人=1人

注：保育園児、幼稚園児は私立を含む。



平成29年度 一般会計当初予算

49,678,353千円/121,211人
(H 29.4.1 住基人口)

市民1人=409,850円



公 園

H 29.4.1 現在施工済み

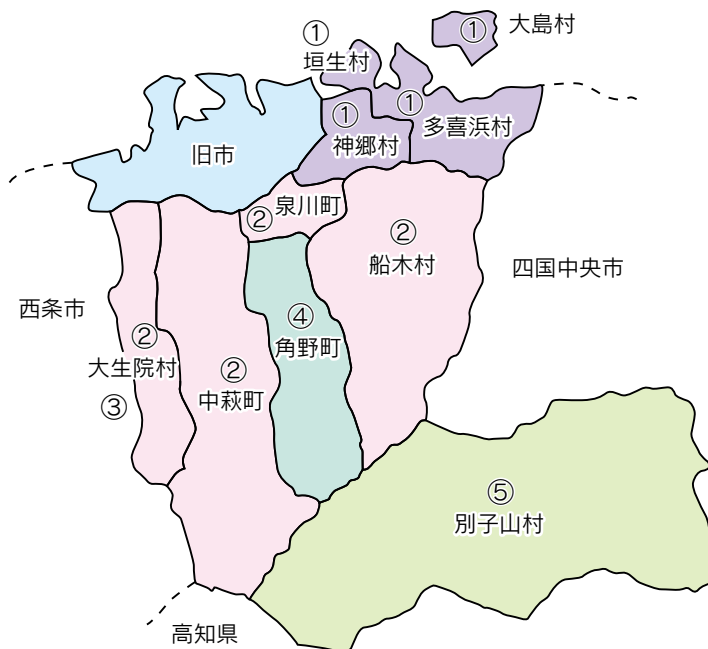
市民1人=11.2 m²



新居浜市統計資料

行政区変遷図

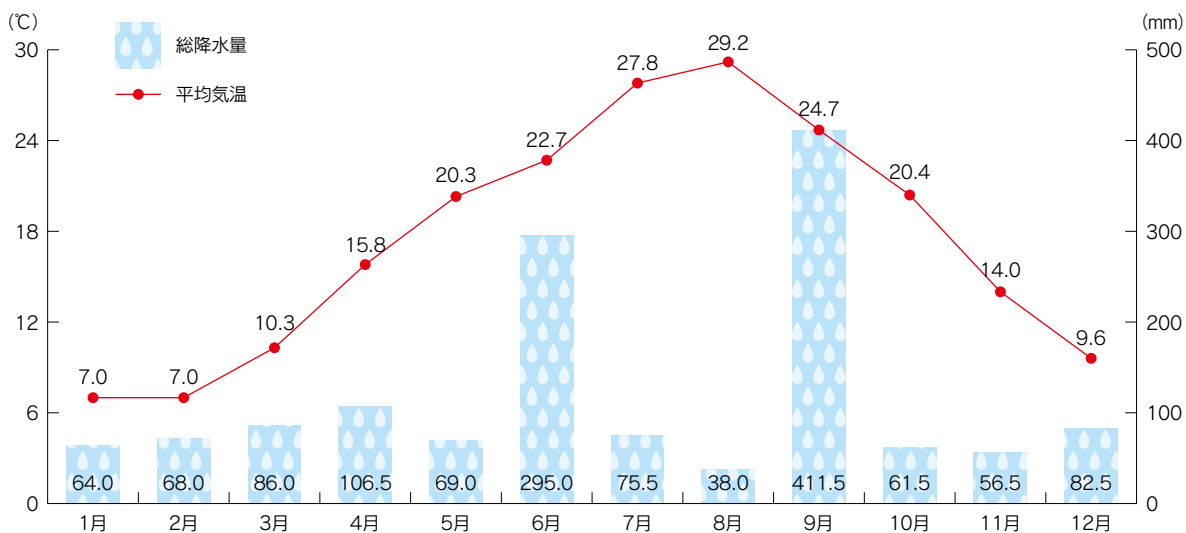
- 昭12.11. 3 市制施行（新居郡新居浜町、金子村、高津村合併）
- ①昭28. 5. 3 新居郡垣生村、大島村、多喜浜村、神郷村編入
- ②昭30. 3.31 新居郡泉川町、中萩町、船木村、大生院村編入
- ③昭31. 9.28 大生院西部地区を西条市に分離
- ④昭34. 4. 1 新居郡角野町編入
- ⑤平15. 4. 1 宇摩郡別子山村編入



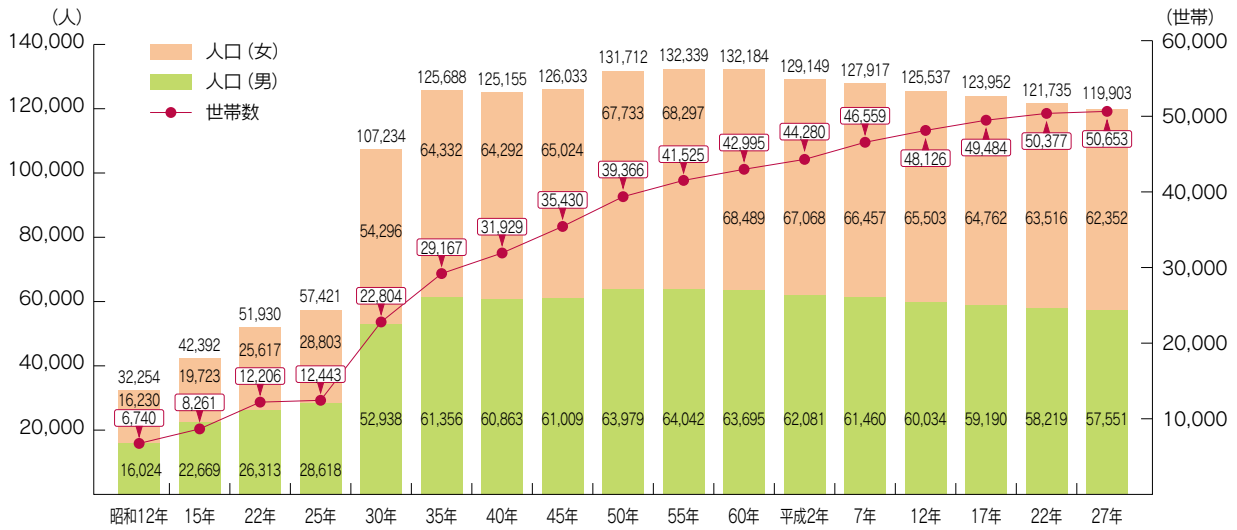
市域の変遷

合併町村名	年次	世帯数(世帯)	人口(人)	面積(km ²)
市制施行（新居郡新居浜町、金子村、高津村合併）	昭12.11. 3	6,740	32,254	18.39
新居郡垣生村、大島村、多喜浜村、神郷村編入	昭28. 5. 3	15,702	73,671	43.42
新居郡泉川町、中萩町、船木村、大生院村編入	昭30. 3.31	21,386	101,870	161.35
大生院西部地区を西条市に分離	昭31. 9.28	22,641	106,421	142.04
新居郡角野町編入	昭34. 4. 1	25,821	120,863	157.41
宇摩郡別子山村編入	平15. 4. 1	52,993	127,926	234.30

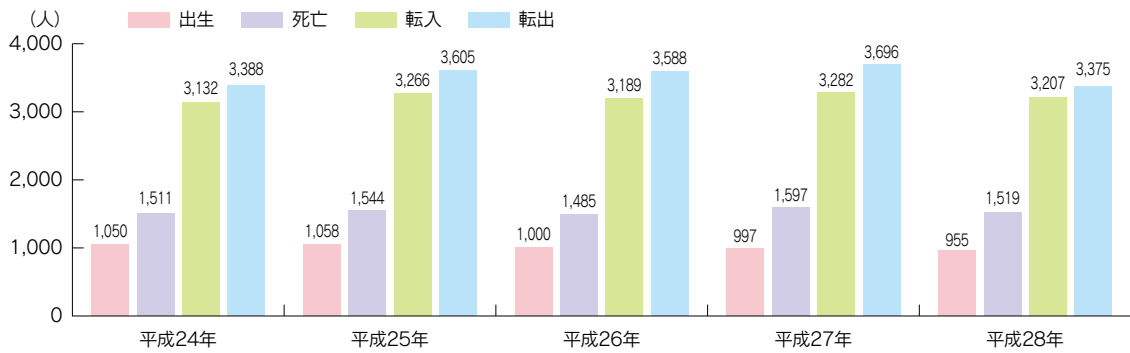
月別平均気温・降水量(平成28年)



◆人口・世帯数の推移

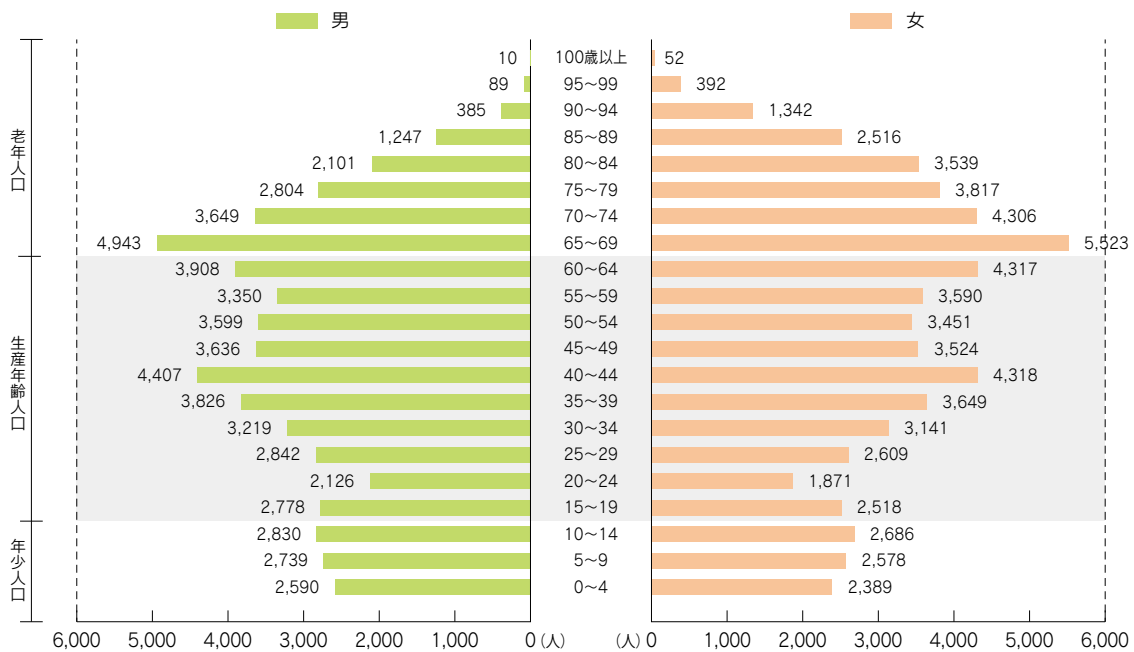


◆人口動態推移



◆年齢(5歳階級)男女別人口

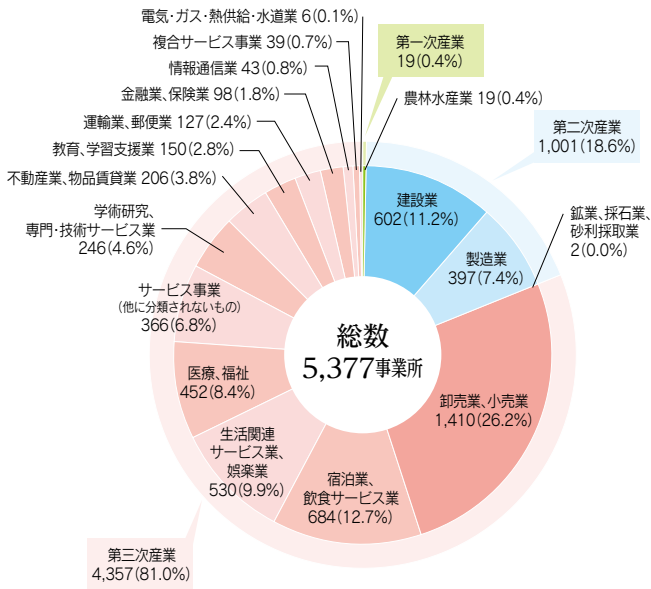
平成27年国勢調査





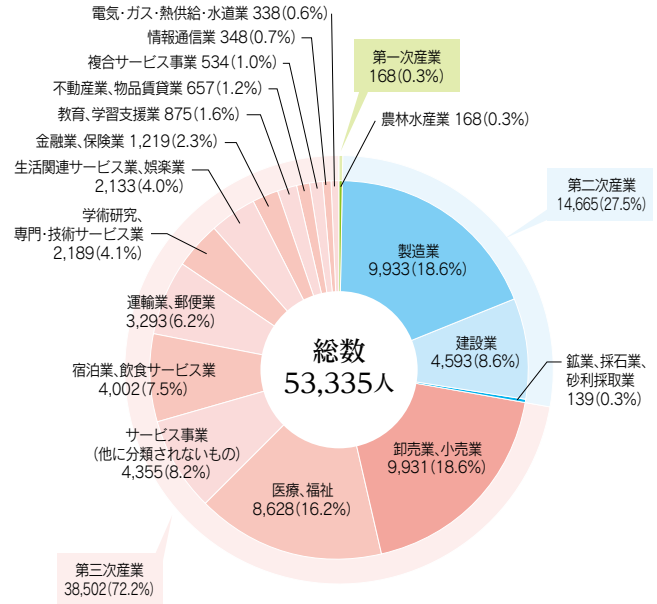
事業所

◆産業大分類別事業所構成比



資料：経済センサス基礎調査

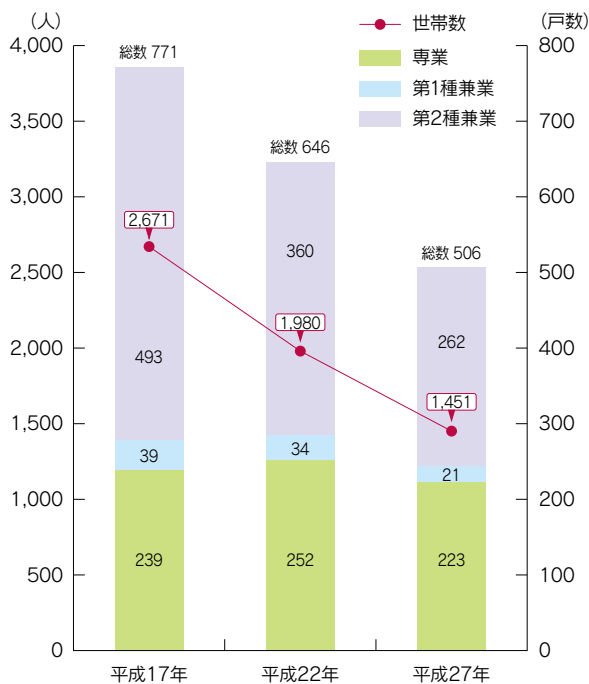
◆産業大分類別従業者構成比



資料：経済センサス基礎調査

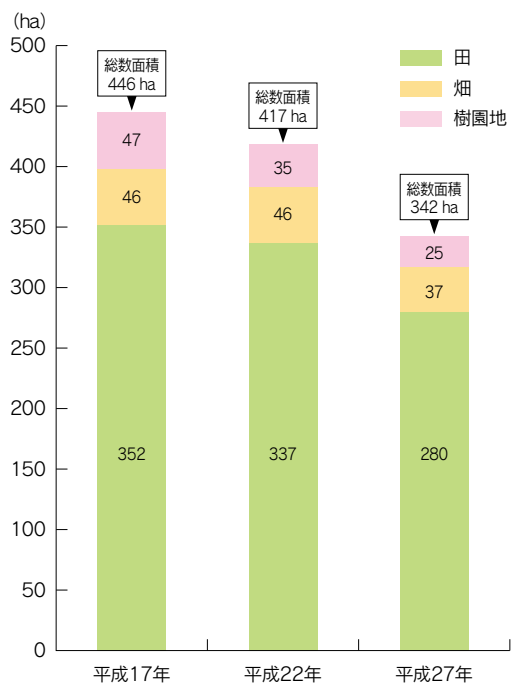
事業所

◆農家戸数・世帯員数の推移



資料：農業センサス

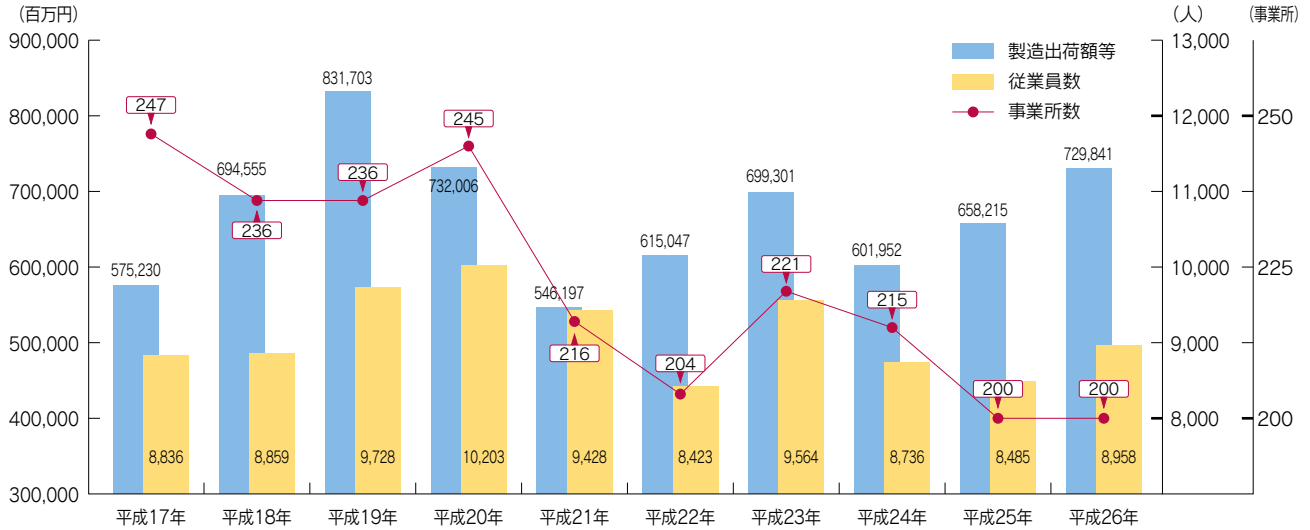
◆経営耕地種類別面積 (販売農家)



資料：農業センサス

工業

◆事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移

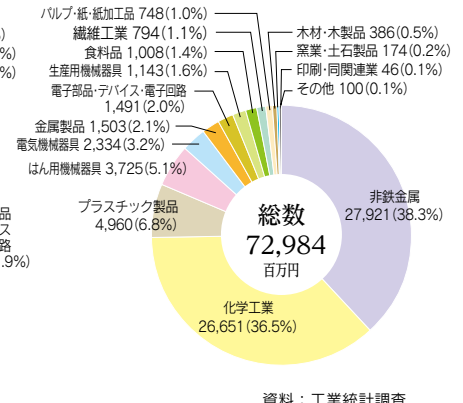
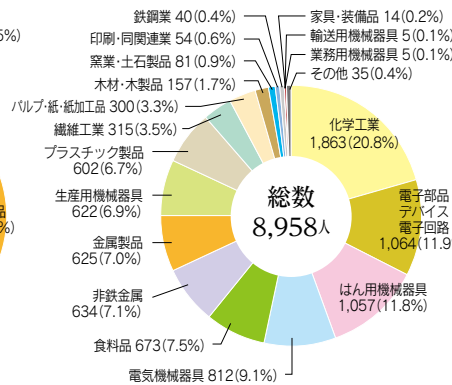
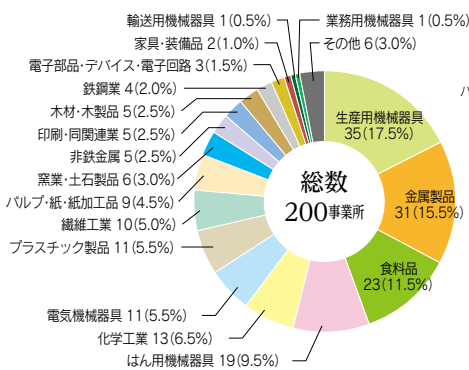


資料：工業統計調査、経済センサス活動調査

◆産業中分類別事業所構成比

◆産業中分類別従業者構成比

◆産業中分類別製造品出荷額等構成比

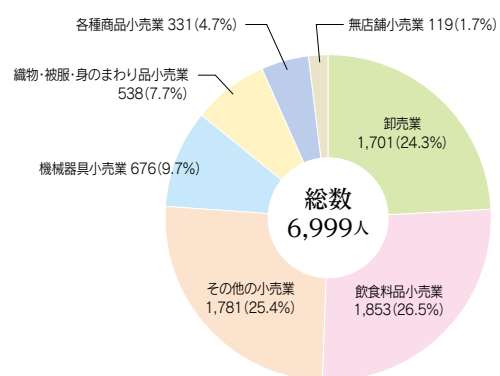
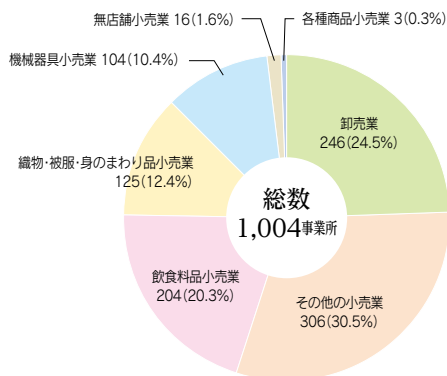


資料：工業統計調査

商業

◆産業小分類別事業所構成比

◆産業小分類別従業者構成比

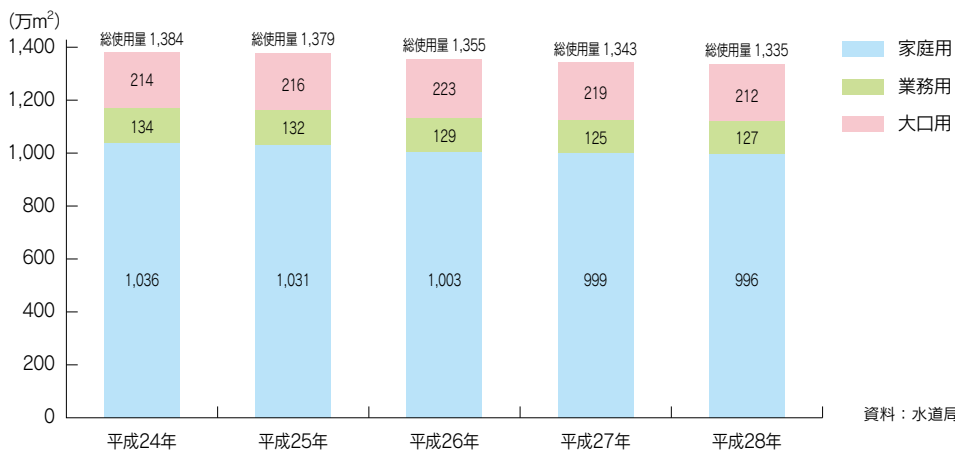


資料：商業統計調査

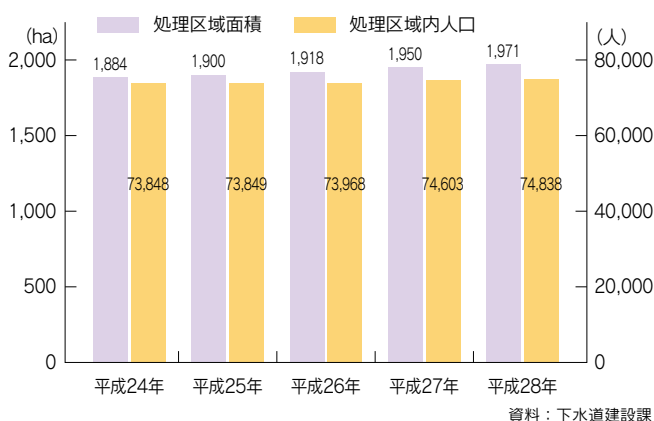


居住環境

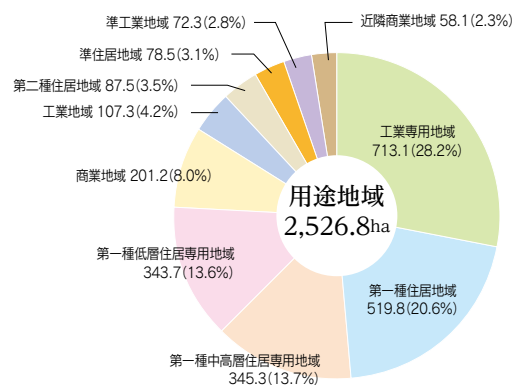
◆使用水量の推移



◆公共下水道普及状況

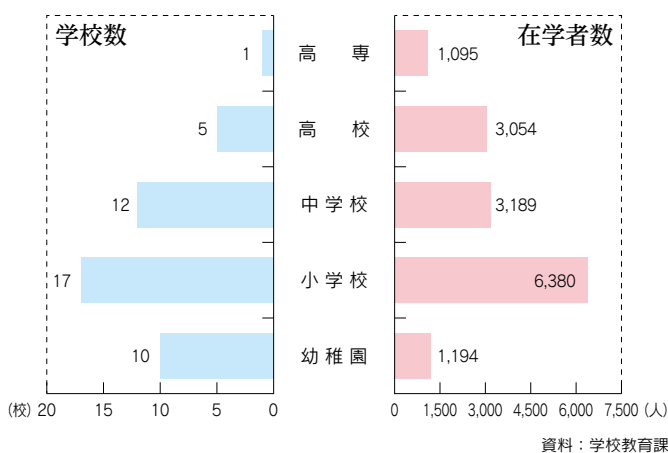


◆用途地域別面積

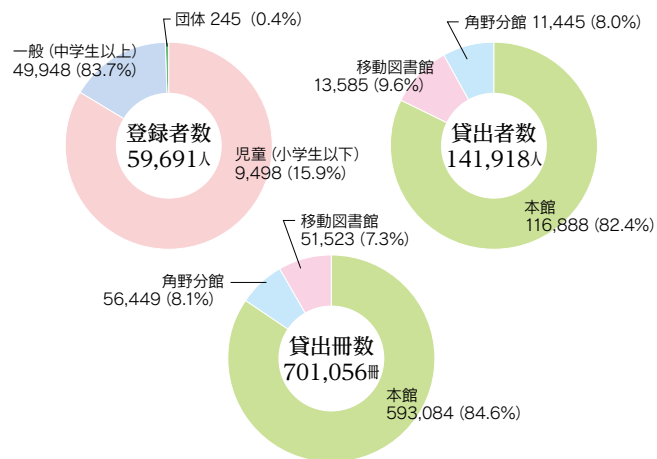


教育・文化

◆学校数及び在学者数 (平成29年)

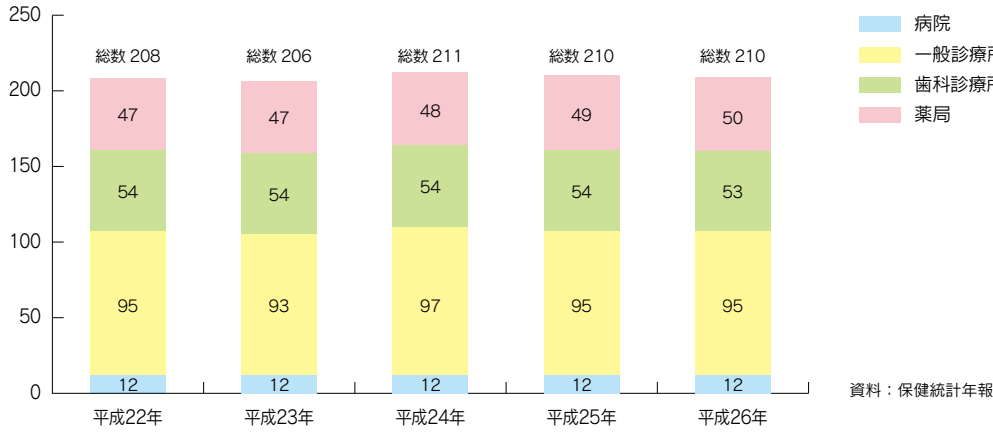


◆図書館利用状況 (平成28年)

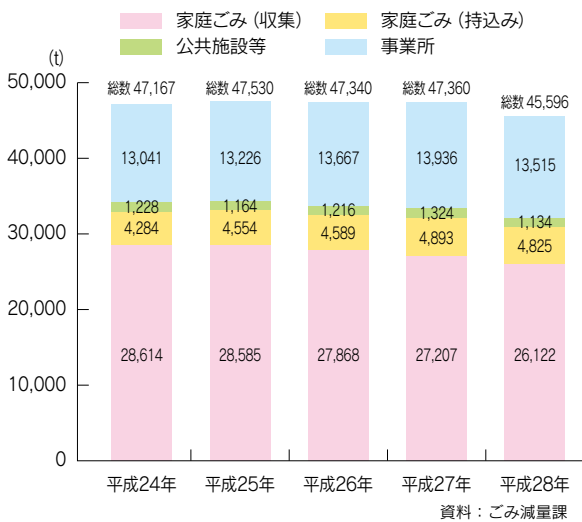


保健衛生

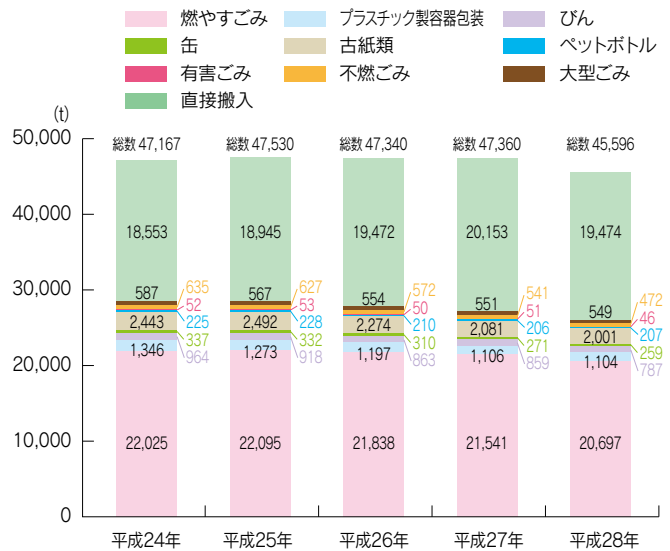
医療施設数の推移



ごみ処理量の推移

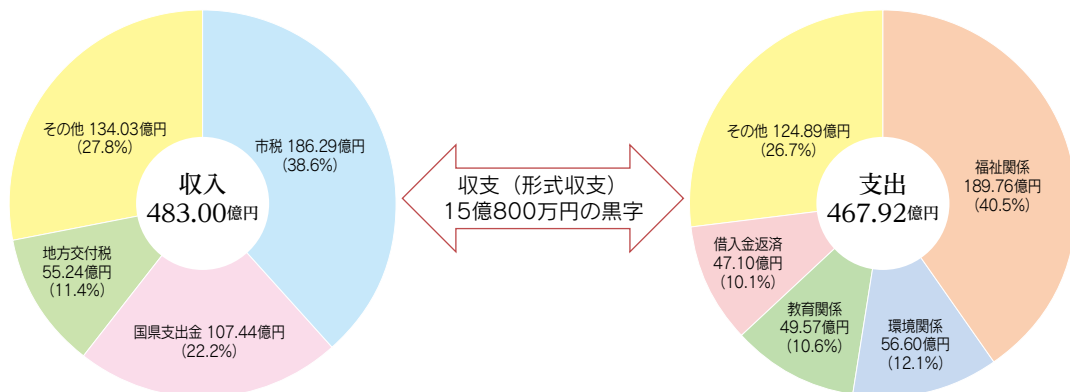


ごみ収集量(9種分別)の推移



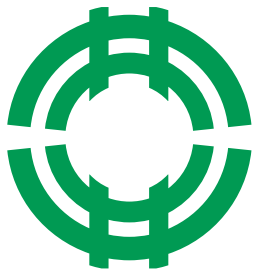
行財政

平成28年度一般会計決算





市章・市花・市樹



市章

市章の図案は、大阪毎日新聞社が、全国から募集選定し、同社から本市に贈呈されたものです。

上下の井は二井（新居）を意味し、末広形の横の開きは工業・港都・灯台の光芒を表しています。

(昭和12.11.3制定)



市花 つつじ

市制施行30周年を記念して、市民総ぐるみで、花いっぱい運動をすすめる心をこめて、市花に選定。

銅山峰にはキバナツツジが多く、昭和32年県の天然記念物に指定されました。



市樹 くす

市制施行30周年を記念して、市民総ぐるみで、緑いっぱい運動をすすめる心をこめて、市樹に選定。

一宮神社境内のクスノキは、昭和26年に国の天然記念物に指定されました。



新居浜

新居浜市勢要覧2017

平成29年11月3日発行

編集・発行／新居浜市役所 秘書広報課
新居浜市一宮町一丁目5番1号
TEL (0897) 65-1251 (直通)
FAX (0897) 65-1217
<http://www.city.niihama.lg.jp/>
E-mail hisyokouhou@city.niihama.lg.jp

印刷・製本／原印刷株式会社



新居浜へのアクセス



飛行機 → **松山空港**

東京 … 1時間30分
 名古屋 … 1時間05分
 大阪 … 50分
 福岡 … 40分
 鹿児島 … 1時間
 沖縄 … 1時間50分

車 → **新居浜**

大阪 … 約4時間
 高松 … 約1時間30分
 松山 … 約1時間
 高知 … 約1時間10分
 徳島 … 約2時間

鉄道 → **新居浜**

東京 … 約5時間30分
 大阪 … 約3時間
 岡山 … 約1時間40分



ACCESS GUIDE





あかがねのまち、笑顔輝く
産業・環境共生都市

新居浜市勢要覧 2017
平成 29 年 11 月 3 日発行